

1週ごとに風が冷たくなってきた。

薬品会社での発表のため、胃カメラ後のピロリ菌除菌についてまとめた。2年間で約200名にピロリ菌が見つかり、ほぼ全例に抗生剤7日間内服による除菌を行った。

ピロリ菌はおそらく家族内(父母)から幼少期に感染し、その後次第に胃粘膜を障害し、慢性胃炎・胃十二指腸潰瘍を発症し胃がんを引き起こす(確率が高い)。

胃カメラで胃内を覗くと、ピロリ菌陽性の胃粘膜は、薄く発赤し(炎症がある)生検にても、健康な方が餅のような弾性があるのに比して、脆い。健康な100歳の方の体の皮膚が数十歳若く見えるのと同様だ。

初回の抗生剤で8割近くが除菌され、残り1割も2回目の治療でほぼ除菌される(1割は除菌できない)。除菌実行した方からのその後の胃症状と胃がんの発症が激減するため、私も治療のやりがいを強く感じる疾患だ。

ただ残念なのは、しつこく除菌の確認検査を促しても、数人はその後来院しないことで、御連絡すべきか現在迷っている。

20年前のノーベル生理学賞の業績に基づくこの治療を、さらに皆様に知らしめたいと考えている。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

追伸 映画『僕がジョンと呼ばれるまで』が10月25日にアイプラザ半田で上映され、午前・午後で500人近い方にお越し頂きました。

アンケートには、「望みのない悲惨な認知症患者さん」が、実は介護者の対応により微笑ましい希望を与えてくれる」という内容がありました。

これからも新しい優れた治療が開発されるはず。同時に介護する人たちの認識と対応を少し変えるだけでも、認知症の方々が良い方向に十分変わり得るのだとだけ思っていたら、上映に携わった甲斐があったと思います。ありがとうございました。



【運動療法デイサービス】

スポーツの秋。10月に2日間ハーブ大運動会を行いました。競技の内容は当日まで利用者様にはヒミツ☆

去年までは玉入れとパン食い競争が定番でしたが、今回は雰囲気を変えて、椅子に座ったまま行える“ものおくりメドレー”<ラップ輪おくり・お玉でボール送り・足で輪おくり・バトンおくり>と、“早く引いたもん勝ち綱引き”を取り入れました！



スタッフは雑巾リレー！（ちょこまか動く姿が滑稽です…）盛り上げ上手な方による気合いの入った応援合戦もあり、かなり盛り上がった二日間でした。

いつも無口な方からも多くの笑顔がみられ、楽しくにぎやかな運動会となりました。

【頭の体操コーナー】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。

朝晩がとても寒くなりました。この季節になると乾燥が気になりますよね。

今日は頭の体操中の会話で印象的だった一言をご紹介します。

今年90歳になられた女性M様。肌がお綺麗なのでどんなお手入れをされていたのか聞いてみました。

「特別なことはしてないけど昔から化粧水は塗ってたよ」「いくつになっても綺麗でいたいわね。自分の歳なんて忘れちゃった！まだ若いでしょ？」とおっしゃるM様。

いつまでも若々しい気持ちが綺麗の秘訣なのかも、と密かに感じる会話でした。



スタッフブログを毎週更新中！

今月のおすすめブログは10月28日の『みんなで作ろう たこ焼き！』です。ぜひご覧ください♪

ハーブ内科